

## 第10回日中経営フォーラム

汪 志 平

(札幌大学経営・会計学系コーディネーター)

2015年12月25日、中国上海・華東理工大学において「第10回日中経営フォーラム」が開催された。

日中経営フォーラムは、現代企業経営の諸問題について、研究発表と討論交流を行う場として、札幌大学経営学部と華東理工大学商学院との間で、2006年から始められた。第6回と第7回には台湾の中国文化大学および玄奘大学が加えられ、さらに第8回と第9回には中国の安徽工業大学が参加し、「亜太商管学院学術研究会」という新たな大会名称も付加された。今回は節目の第10回を迎えるに当たって、札幌大学と華東理工大学のみの参加という原点に戻っての開催となったのである。

今回のフォーラムには、札幌大学からは3名、そして華東理工大学商学院から4名の研究者が報告を行い、意見を交わした。華東理

工大学の教員と学生約80人がフォーラムに出席した。研究発表会の後、両大学の教員がラウンドテーブル会議を開き、学生教育、研究管理、大学と社会および企業との関係などを巡って討論した。

札幌大学からの3人の報告テーマは以下の通りである。

- ・本間雅美「リーマンショックとグローバルインバランス」
- ・鶴日出郎「原価計算の新潮流——ABCからTDABCへ」
- ・汪 志平「日本の企業統治改革の現状と課題——東芝会計不正事件の事例研究」

なお、2016年度の「第11回日中経営フォーラム」は、札幌大学で開催されることになっている。

